

東日本大震災復興祈念公園検討会議 説明資料

平成24年3月
都市局 公園緑地・景観課

東日本大震災の被災自治体の復興計画等に位置付けられた震災復興祈念施設①

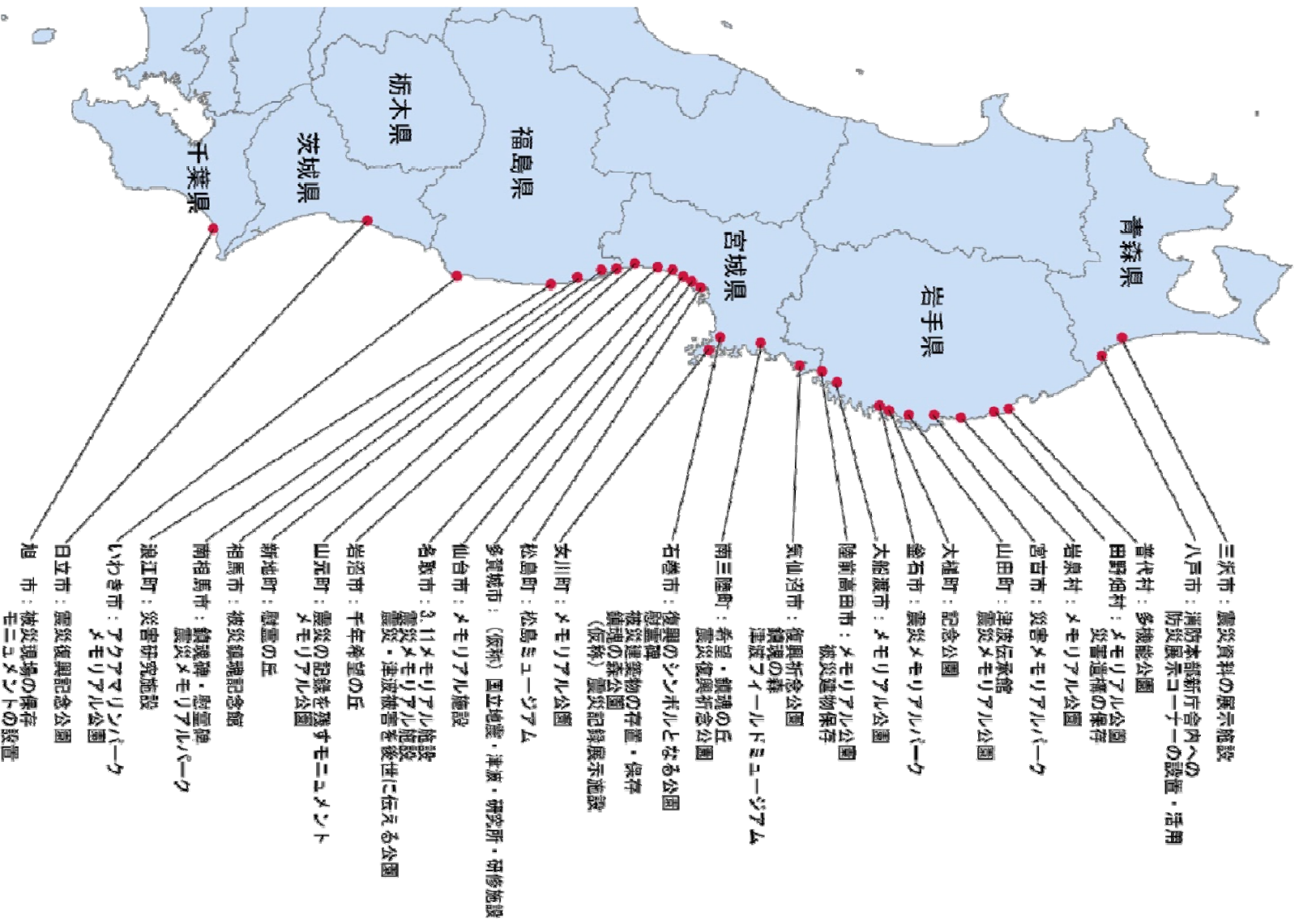
■市町村の復興計画等における震災復興祈念公園の位置付け状況

項目	青森県	岩手県	宮城県	福島県	茨城県	栃木県	千葉県	計
復興計画策定市町村数	4	12	19	23	8	1	6	72
うち復興祈念公園等を位置づけている市町村数	2	9	10	5	1	0	1	28
うち震災復興祈念公園を位置づけている市町村数	0	9	7	2	1	0	0	19
うち公園以外の震災復興祈念施設の実を位置づけている市町村数	2	0	3	3	0	0	1	9

※国土交通省調べ

東日本大震災の被災自治体の復興計画等に位置付けられた震災復興記念施設②

■震災復興記念施設の分布



東日本大震災の被災自治体の復興計画等に位置付けられた震災復興祈念施設③

■復興計画における震災復興祈念公園等に関する主な事例①

名称	記載内容
震災メモリアルパーク (釜石市)	<ul style="list-style-type: none"> ●震災で犠牲になられた方々の鎮魂と、そのもとで学んだ教訓などを長く後世に伝えるため、複合的な機能を備えた震災メモリアルパークの整備を進めるとともに、地域における津波の痕跡などを現地に石碑などで示し、津波災害に対する意識が風化しないように努める。 ●震災の記憶を後世に伝えるため、「(仮称)釜石市東日本大震災記」の発行や震災メモリアルパークの整備により、防災文化の醸成と継承を図る。
メモリアル公園 (大船渡市)	<ul style="list-style-type: none"> ●犠牲者の追悼、鎮魂や地域の防災拠点としての機能を兼ね備えたメモリアル公園などの整備。
メモリアル公園 被災建物の保存 (陸前高田市)	<ul style="list-style-type: none"> ●復興のシンボルとなる高田松原の公園区域を拡大し、鎮魂の丘や被災建物(道の駅高田松原)の保存、メモリアル広場などを含め、次世代をはじめとする市民参画のもと市民の憩いの場となるメモリアル公園を整備する。 ●復興のシンボルとなる高田松原の公園区域を拡大し、鎮魂の丘や被災建物(道の駅高田松原)の保存、メモリアル広場などを含め、次世代をはじめとする市民参画のもと市民の憩いの場となるメモリアル公園を整備する。
復興祈念公園 (気仙沼市)	<ul style="list-style-type: none"> ●安波山及び周辺地区などを候補地として鎮魂の森を整備するほか、復興のシンボルとして復興祈念公園と防災拠点施設を整備し、全国から多くの方々が訪れることで地域活性化を推進する。併せて、地盤沈下等の現状の活用など震災の様子を伝える工夫を行う。 ●地区内外に移転した住宅跡地を集約して、本市に不足している運動施設用地もしくは祈念公園などに活用する。 ●地区内部に存知している船舶や損壊家屋、地盤沈下した市街地などをそのまま現状保存した祈念公園などの整備を検討する。

東日本大震災の被災自治体の復興計画等に位置付けられた震災復興祈念施設④

■復興計画における震災復興祈念公園等に関する主な事例②

名称	記載内容
震災復興祈念公園 (南三陸町)	●津波に対して安全なまちづくりの象徴として、津波の浸水域などに、祈念公園を整備するとともに、慰霊碑の建立や津波の痕跡の保存、到達点を示す石柱の設置などのメモリアルを整備する。また、津波に関する研究や学習を目的とした記念館等の整備について検討する。
メモリアル公園 (女川町)	●町中心部の要所に、津波浸水の到達標高標示等を行い、町民や観光客に津波浸水の事実を伝え、災害や防災意識の向上を図る。 ●町中心部においては、被災した施設を災害遺構として保存し、被災者慰霊碑、メモリアル公園の整備を図る。
3.11メモリアル施設 (名取市)	●貞山運河東側については、基本的に非居住とし、次のような施設の整備により活用を図る。 (例えばメモリアル広場やミュージアムなど)
千年希望の丘 (岩沼市)	●「千年希望の丘」などのメモリアルパークを、諸外国、国内外の企業やNPO、NGOなどのペアリング支援により実現する。 ●海岸部に多重構造のあたらしい社会共通基盤として、津波の力を減衰させる津波よけ「千年希望の丘」を整備し、減災に取り組むとともに、後世の人々へ今回の津波被害の大きさや私たちの想いをつなぐために、この丘を含めたエリアをメモリアルパークとして整備を図る。
メモリアルパーク (南相馬市)	●北泉海浜総合公園は、震災の傷跡、教訓を後世に残し、防災意識の向上を図るため、震災メモリアルパークとして整備する。 ●海岸防災林を活用した鎮魂の森、震災メモリアルパーク及びサイクリングロードなど、大震災の犠牲となった人々を鎮魂・供養し、震災の経験をいつまでも忘れず後世に継承できるよう多くの人々が集える海岸線の整備を関係機関へ働きかけ推進する。

多様な主体による「追悼・鎮魂」、「震災の記録・教訓の伝承」①

■ 阪神・淡路大震災における震災モニュメントとそのネットワークの事例

○ 震災モニュメント

- ・阪神・淡路大震災では、被災地の公園、学校や商店街等に、地元自治体のみならず、個人・団体のあらゆる主体によって、自然発生的に多数の慰霊碑・追悼碑が建てられた。



写真 詩碑
水堂小学校(尼崎市)



写真 ブロンズ像
三宮センター街(中央区)



写真 石塔
如来寺(芦屋市)

○ 震災モニュメント交流ウォーク

- ・NPO法人阪神淡路大震災「1.17希望の灯り」の前身である、「震災モニュメントマップ作成委員会」により、各地に設置された震災モニュメントが記載された「震災モニュメントマップ」が作成されている。震災モニュメントは2010年時点で、288箇所が記載されている。
- ・また、同NPOにより、数ヶ所の震災モニュメント巡りを行う「震災モニュメント交流ウォーク」という取組が行われている。

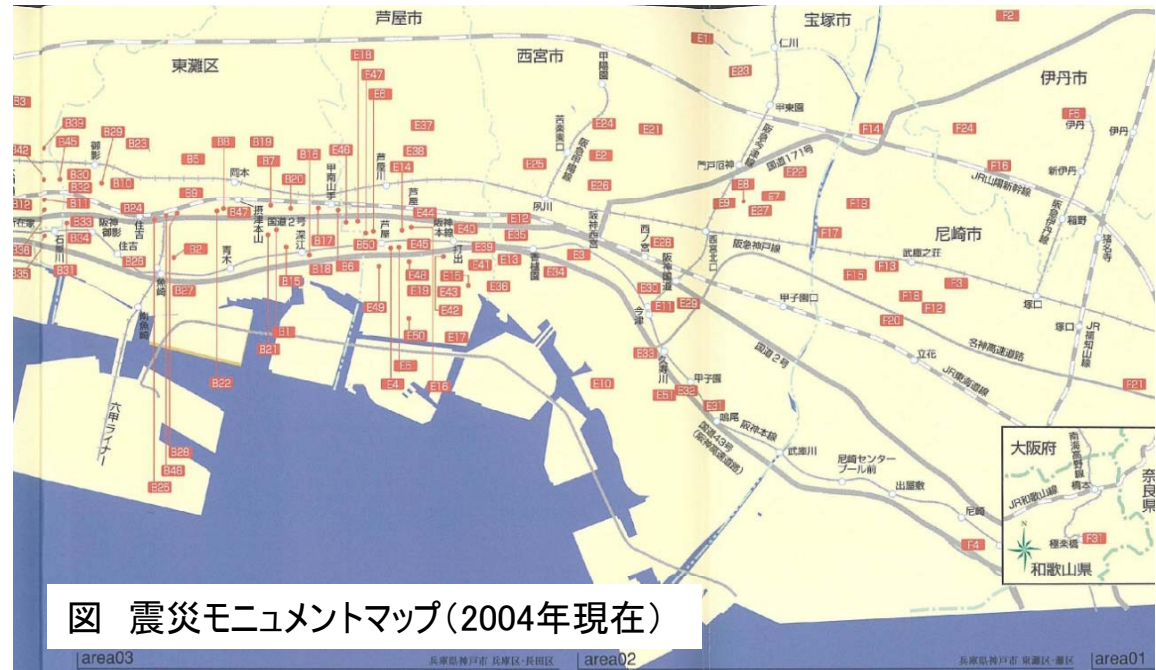


図 震災モニュメントマップ(2004年現在)

多様な主体による「追悼・鎮魂」、「震災の記録・教訓の伝承」②

■阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター

■概要

阪神・淡路大震災の経験を語り継ぎ、その教訓を未来に生かすことを通じて、災害文化の形成、地域防災力の向上、防災政策の開発支援を図り、安全・安心な市民協働・減災社会の実現に貢献することをミッションとしており、「減災社会の実現」と「いのちの大切さ」「共に生きることの素晴らしさ」を世界へ、そして未来へと発信し、さらには、世界的な防災研究の拠点として、災害全般に関する有効な対策の発信地となることを目指している施設。

○設置主体：兵庫県

○運営主体：財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構

○施設規模：8573.49m²

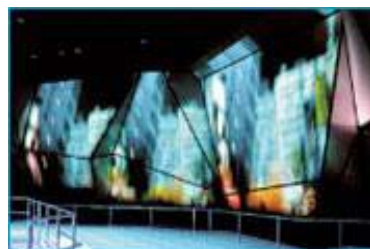


写真 センターの外観

○「阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター」における災害の教訓の伝承手法



資料室



1.17シアター



震災直後のまちの再現



大震災ホール



震災の記憶を残す
コーナー



震災を語り継ぐ
コーナー



災害情報ステーション



防災・減災ワーク
ショップ



ガイダンスルーム
[震災学習プログラム]

都市公園における「追悼・鎮魂」、「震災の記録・教訓の伝承」①

■阪神・淡路大震災における追悼・鎮魂と震災の記録、教訓の伝承①

公園名称	位置	慰霊碑建立年	施設概要
大倉山公園 鹿児島県人会慰霊碑	神戸市中央区	1999年	鹿児島県出身の犠牲者202人を追悼した慰霊碑
中野南公園	神戸市東灘区	1996年	震災の記憶を永遠にとどめるような碑。 犠牲者を追悼するだけでなく、私たち生き残ったものの心のよりどころ
宝島池公園	神戸市東灘区	1997年	98人の名前を記した慰霊碑
中野北公園	神戸市東灘区	1996年	75人の名前を記した慰霊碑
中之町公園	神戸市東灘区	1998年	慰霊碑。震災の傷跡を伝承するための碑。
西灘公園	神戸市灘区	1997年	133人の名前を記した慰霊碑
磯島公園	神戸市東灘区	2001年	20人の名前を記した慰霊碑
都賀川公園	神戸市灘区	2000年	灘区が本格的な復興に向かうことを宣言するために建立



写真 大倉山公園



写真 中之町公園



写真 西灘公園



写真 都賀川公園

都市公園における「追悼・鎮魂」、「震災の記録・教訓の伝承」②

■阪神・淡路大震災における追悼・鎮魂と震災の記録、教訓の伝承②

公園名称	位置	慰霊碑建立年	施設概要
新湊川公園	神戸市長田区	2000年	長田区の老人クラブ連合会が、同会メンバー154人の名前と所属していたクラブが刻まれた慰霊碑を建立。
すがはらすいせん公園	神戸市長田区	2003年	震災前後を伝えるパネル
海運双子池公園	神戸市長田区	2000年	震災の年1995年生まれの子ども10人ら地区に縁のある約60人の「手形モニュメント」
新長田公園	神戸市長田区	2004年	記念碑及び2025年に掘り起こす「タイムカプセル」を埋めている。
明石公園	明石市	1998年	被災の記憶を構成に残すために被災モニュメントを建立
下中島公園	神戸市須磨区	1996年	記念碑とタイムカプセル



写真 新湊川公園



写真 新長田公園



写真 明石公園



写真 下中島公園

都市公園における「追悼・鎮魂」、「震災の記録・教訓の伝承」④

■ 平和記念公園（広島市） [12.2ha]

主な事業主体：広島市

■ 概要 世界に向けて人類の平和を願い訴える目的と過去の過ちを繰り返さないために、爆心地に近いこの周辺に公園の建設が計画され、1954年4月1日に完成した。公園の計画は、原爆ドーム・慰霊碑・資料館を結ぶ南北軸と、資料館を中心とする3棟の建物による東西軸からなる。

追悼・鎮魂



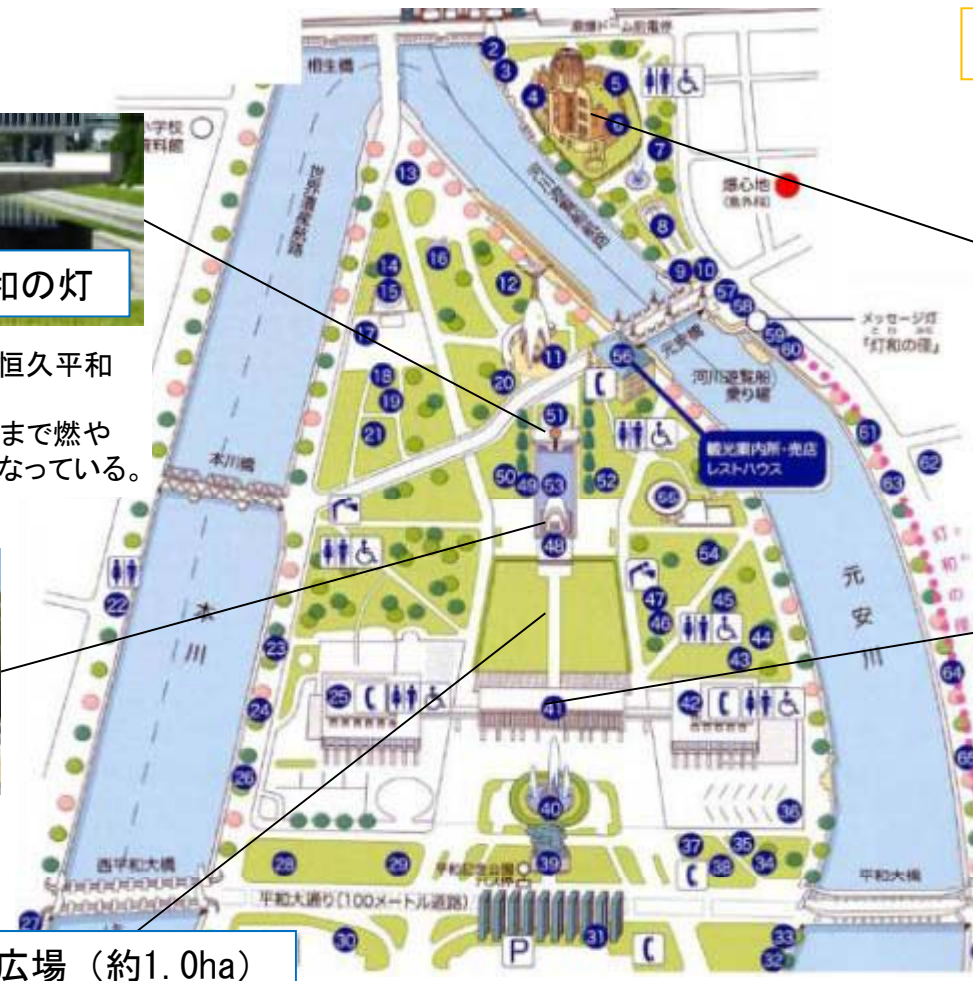
平和の灯

犠牲者を慰め、核兵器廃絶と世界恒久平和を希求するため建設された。「核兵器が地球上から姿を消す日まで燃やし続けよう」という反核悲願の象徴となっている。



原爆死没者慰霊碑

広場（約1.0ha）



震災の記録・教訓の伝承



原爆ドーム

地上3階一部5階建て、地下1階



広島平和記念資料館

本館：地上2階一部中3階建
延床面積 1,615m²

※写真等の無断転載禁止

都市公園における「追悼・鎮魂」、「震災の記録・教訓の伝承」⑤

■長崎平和公園（長崎県）[18.6ha]

主な事業主体：長崎市

■概要 公園全体を街のなかの緑のシンボルとする「平和の森」づくりを基本に、国道206号をはさみ、東西2地区に大きくわかれる公園の特性を充分考慮するとともに、公園建設当初の趣旨を尊重しながら新たな公園づくりを進めた。憩い、学び、スポーツ、広場の4ゾーンに分かれる。

追悼・鎮魂



平和祈念像



平和の泉

水を求めながら亡くなった原爆犠牲者の冥福を祈りつくられたもの



式典広場（約0.3ha）



震災の記録・教訓の伝承



浦上天主堂遺壁

原爆により崩れ落ちた浦上天主堂の堂壁。この遺壁は、聖堂の南側の一部を移築したもの。



長崎原爆資料館

地上1階 地下2階建
延床面積 7,949.73m²

都市公園における「追悼・鎮魂」、「震災の記録・教訓の伝承」⑥

■北淡震災記念公園（兵庫県） [3.4ha]

主な事業主体：淡路市（旧北淡町）

■概要 地震で現れた国指定天然記念物・野島断層を、ありのままに保存・展示し、多様な角度から断層を分かりやすく解説している。

震災の記録・教訓の伝承

野島断層保存館



本館：地上1階建
延床面積 2,815m²



保存館内の展示（野島断層）



震災体験館



当時の神戸の地震計の記録を元に再現した「震度7」の揺れを体験できる



メモリアルハウス

活断層の真横でもほとんど壊れなかった家を「地震に強い家」として公開しているもの



当時の台所を再現

本館：地上2階建、延床面積 290m²

地域の復興ビジョンや新たなコミュニティのあり方示す場としての都市公園等①

■事例 帝都復興事業(1924~1930年)

■概要

- 1923年9月1日の関東大震災で被害が甚大だった東京や横浜の復興事業で、帝都復興院により、復興計画が作成、実施された。
- 帝都復興事業では、区画整理により道路・公園の整備を行い、都市の防火帯として公園を確保した。公園においては、国施行の三大公園(隅田公園、浜町公園、錦糸公園)と東京市施行の52ヶ所の小公園が設置された。また横浜においても山下公園、野毛山公園、神奈川公園も国施行で行われた。
- 計画策定の中心的役割を果たした後藤新平の計画思想「復旧ではなく復興」
- 三大公園は、帝都復興局公園課の折下吉延らによって設置が進められ、普段は市民の憩いの場として、非常時には避難場所としての役割を果たすように設計された。



隅田公園(東京都)



山下公園(横浜市)

地域の復興ビジョンや新たなコミュニティのあり方示す場としての都市公園等②

■事例 戦災復興事業

■概要

- ・公園緑地については、公園、運動場、公園道路その他の緑地は「系統的に配置せらるること」と、公園緑地系統(パークシステム、緑のネットワーク)の思想を示した。
- ・緑地の総面積は市街地面積の10%以上という緑地率の数値を示し、「必要に応じて市街外周における農地、山林、原野、河川等、空地の保存を図るため、緑地帯を指定し、その他の緑地と相俟って、市街地への楔入を図ること」と、1930年代の東京緑地計画に始まるグリーンベルト思想が謳われていた。

○定禅寺通緑地 (仙台市青葉区)

- ・戦災復興事業により、幅員46mの道路に、中央の緑地帯、両側の歩道植樹帯とあわせ、4列のケヤキを植樹。
- ・仙台七夕祭り、定禅寺ストリートジャズフェスティバルなどの全国的に有名なイベント開催の舞台となっているほか、沿道にはせんだいメディアテーク(仙台市教育委員会)が建設されるなど、仙台市を代表とするシンボルロードとして多くの市民、観光客でにぎわっている。



定禅寺通緑地

○久屋大通公園 (名古屋市)

- ・戦災復興事業により、火災等の災害を防止し、避難場所ともなる100m道路を整備。その後、広い中央分離帯を公園として活用し、コンサートや集会など、さまざまなイベントが開催されるようになった。園内のテレビ塔や、沿道のオアシス21など、観光客でにぎわっている。



久屋大通公園

地域の復興ビジョンや新たなコミュニティのあり方示す場としての都市公園等③

■事例 国営昭和記念公園 こもれびの里(東京都)[180.1ha] 主な事業主体：国土交通省

■概要

- ・国営昭和記念公園「こもれびの里」は、昭和30年代の武蔵野の農村の心象風景を再現することを目的として、「昭和・武蔵野・農業」をテーマにかつてのくらしの知恵を再発見し、将来に向けて発展継承することを基本方針としている。
- ・国営公園初めての試みとして、こもれびの里開園以降の市民の運営への参加も見据え、計画・整備段階からの市民参加による公園づくりを行っており、計画・整備・管理の各段階を通して市民が継続的に参加することを基本方針としている。

■経緯

- ・平成14年度にクラブ員の一般公募を行い、クラブ員60名にて「こもれびの里クラブ」を発足。
- ・ボランティア団体「こもれびの里クラブ」と公園事業者が、田畑や施設整備、管理運営などのあり方についてワークショップなどを通じて、共に検討しながら整備・運営を実施。
- ・開園以前から、農業体験イベント、餅つき体験イベント、注連縄づくり等のイベントを開催し、地域の農業文化等の継承に貢献(開園後も継続)。
- ・平成19年10月13日にこもれびの里が開園。



こもれびの里パース図



大のぼりの建立(伝統文化の再現)



宝船の制作(伝統文化の再現)

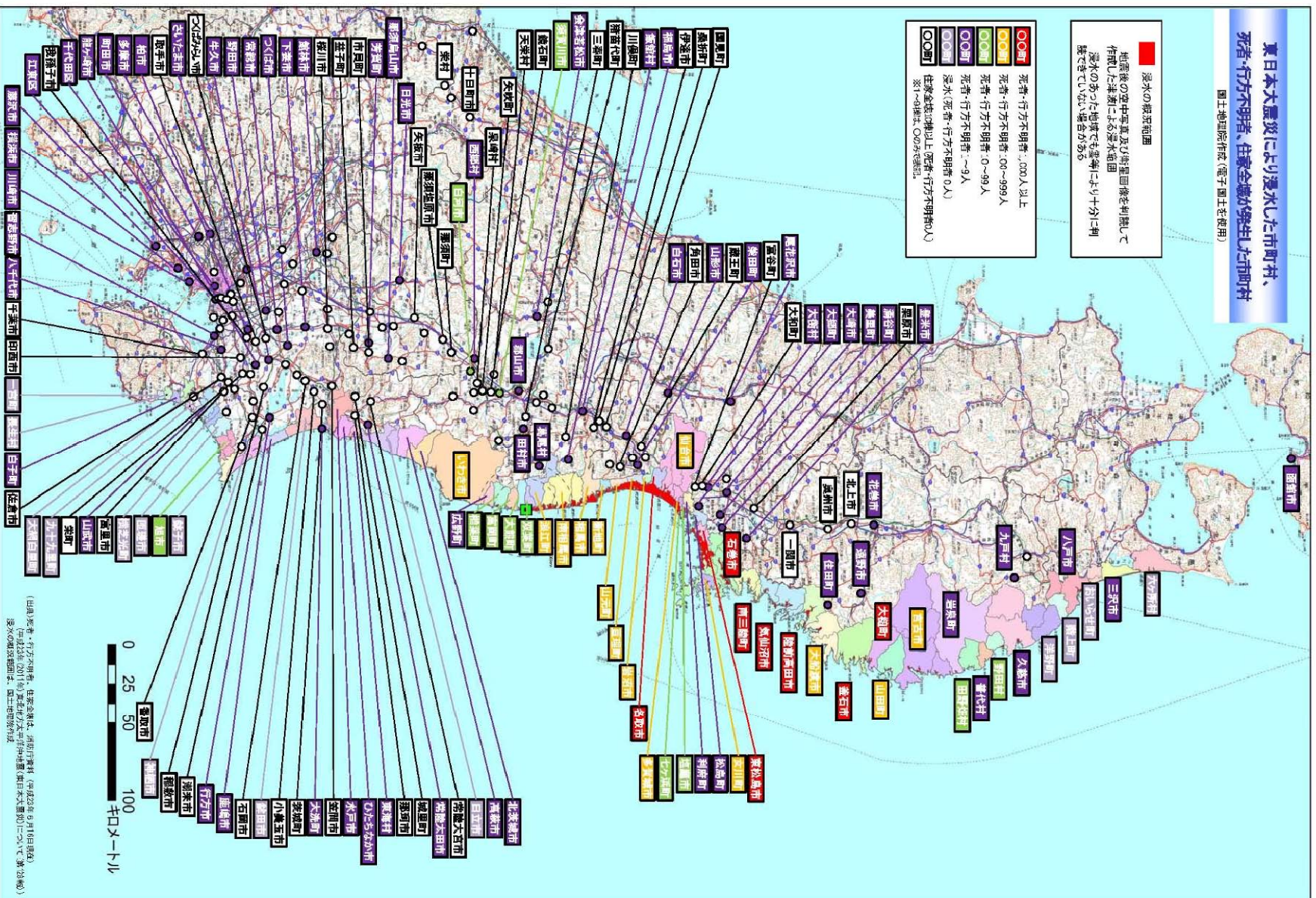
阪神・淡路大震災の主な震災復興祈念施設の事業主体

施設名	設置主体	管理・運営主体
①神戸港震災メモリアルパーク	神戸市	神戸市
②野島震災復興記念公園(仮称) →北淡震災記念公園 (※阪神・淡路大震災記念プロジェクト)	(野島断層保存館) 兵庫県 (その他) 北淡町(現:淡路市)	淡路市
③三木震災記念公園(仮称) →三木総合防災公園(防災公園ゾーン) (※阪神・淡路大震災記念プロジェクト)	(防災公園) 兵庫県 (防災センター) 兵庫県 (実験施設等) 科学技術庁	(防災公園) 兵庫県 (防災センター) 兵庫県 (実験施設等) 独立行政法人 防災科学技術研究所
④阪神・淡路大震災メモリアルセンター(仮称) →人と未来防災センター (※阪神・淡路大震災記念プロジェクト)	兵庫県	財団法人ひょうご震災記念 21世紀研究機構
⑤神戸震災復興記念公園 (※阪神・淡路大震災記念プロジェクト)	神戸市	神戸市
⑥東遊園地 (※「慰霊と復興のモニュメント」設置)	神戸市	神戸市

※国土交通省調べ

東日本大震災による被害状況①

■死者・行方不明者数



東日本大震災による被害状況②

■避難者等の数

調査	内容
東日本復興対策本部 全国の避難者等の数 (岩手県、宮城県、 福島県)の避難状況 (2月1日現在)	<ul style="list-style-type: none">○全国の避難者の数は、約341,000人○住宅等へ入居済みの避難者は、全国で約323,000人○避難者は、全国47都道府県・1200以上の市区町村に所在○岩手県へ避難している避難者数は43,167人で、宮城県が125,013人、福島県が97,285人○自県外に避難している避難者数 福島県からは60,932人、宮城県からは8,619人、岩手県からは1,572人
全国避難者情報システム	<p>岩手県が平成23年11月29日のデータを集計している。</p> <ul style="list-style-type: none">○集計当時、岩手県からの避難者数は13,617人で、そのうち県内に避難しているのは10,624名だった。○避難元市町村のうち、避難者数が多い自治体は、大槌町の3,732人が最も多く、次いで釜石市の2,645人、陸前高田市の2,489人、山田町の1,753人、大船渡市の1,429人、宮古市の1,155人であった。

東日本大震災に対する国際的な注目

■東日本大震災からの復興に関する海外の報道等

◆『フィナンシャル・タイムズ』（英国 経済紙） 2011年3月11日

「日本は“回復力”が豊富」 経済評論家 ピーター・タスカー

危機や災害はポジティブな変化を駆り立てる力になりうる。人を殺さないものは人をより強くするというニーチェの名言がある。この災害は日本を殺さないだろうから、地震の余波への対処をうまくやれば、日本は精神的にさらに強くなって立ち上がってくるだろう。

◆『デイリー・メール』（英国 一般紙） 2011年3月19日

「非常に宿命的な民族」 日本研究家 イアン・ブルマ

我々は日本が素早く復興すると希望せざるを得ない。自国民のために、そして他の国々のために。世界で3番目の経済大国が長く低迷していることを見る余裕は、誰にもない。

◆『ザ・タイムズ』（英国 一般紙） 2011年3月17日 ザ・タイムズ東京支局長 リチャード・ロイド・バリー

目立った略奪もない。食糧や水やガソリンが不足しているにもかかわらず、誰も口論しないし、クラクションも鳴らさない。日本人のもてなしの心はむしばまれていなかった。仙台では、市役所がホームレスの旅行者のための宿泊所になっていた。日本が地震と津波から立ち直ることにはまったく疑いがないが、さらには世界を感嘆させるペースでそうするだろう。

◆『日本の未来について話そうー日本再生への提言ー』（小学館） 2011年7月

「ガマン」のちから ワシントンポスト元東京支局長 トム・リード

新しく生まれ変わり、光り輝く東日本の姿は、意気消沈した国の士気を回復させるに、うってつけの効果をもたらすだろう。高い回復力を持つ日本の社会が、今回の甚大な被害に対して立ち直るための活力、管理能力、そして資金を創出することができるかどうか。日本人は常に逆境にうまく立ち向かってきた。私は、きっとできると考える。それは、日本の長い歴史が証明している。

国が参画している「追悼・鎮魂」の事例

■ 主な復興祈念施設における式典・セレモニーと参加者数

公園施設名	事業主体	内容	参加者数	日本政府の対応 (平成23年度)
阪神・淡路大震災 記念人と防災未来 センター	兵庫安全の日 推進県民会議	「1.17のつどい」 (建物内で実施)	H18年 約1,500人	内閣府特命担当大臣 (復興対策担当)出席
広島平和記念公園	広島市	「平和記念式典」 毎年8月6日	H23年 約50,000人	内閣総理大臣、厚生労働大臣出席
長崎平和公園	長崎市	「平和記念式典」 毎年8月9日に	H23年 約5,600人	内閣総理大臣、外務大臣、 厚生労働大臣出席
沖縄県営平和祈念 公園	沖縄県	「沖縄全戦没者追悼式」 毎年6月23日に	H23年 約5,000人	内閣総理大臣、厚生労働大臣、 内閣府特命担当大臣(沖縄及び北 方対策)、衆議院議長、参議院議長、 沖縄及び北方問題に関する特別委員 会委員長出席
千鳥ヶ淵戦没者墓苑	国 (厚生労働省)	「千鳥ヶ淵戦没者墓苑拝礼式」 毎年5月下旬		秋篠宮同妃両殿下、総理大臣、 厚生労働大臣、外務大臣、 環境大臣、防衛大臣、関係国駐日 大使など多数参列者出席
武道館	国 (厚生労働省)	「全国戦没者追悼式」 毎年8月15日	約6,000人	政府関係者や各界代表、全国からの 遺族代表等参列者出席

※国土交通省調べ

過去の復興祈念施設の立地状況

施設名	災害・戦災名	概要
横網町公園	関東大震災	関東大震災の大火の際に、被服廠跡（当時公園予定地）に界隈の人たちが避難したが運び込まれた家財道具に飛火し、折からの風速17メートルの強風に燃え広がり、多数の焼死者が出た。
神戸港震災メモリアルパーク	阪神淡路大震災	震災により係留施設を遺構として保存している。
北淡震災記念公園	阪神淡路大震災	野島断層そのものを保存展示している。
広島平和記念公園	第二次世界大戦	原爆が投下された爆心地周辺が公園となっている。 死亡者は、約14万人
長崎平和公園	第二次世界大戦	原爆が投下された爆心地が公園となっている。 死亡者は、約14万9千人
沖縄県営平和祈念公園	第二次世界大戦	沖縄戦での地上戦が行われた場所。 戦死者は、約20数万。



原爆落下中心碑
(長崎平和公園)



爆心地・島病院前の原爆被災説明板
(広島平和記念公園)

震災復興祈念公園の整備を国に求める要望

■岩手県

《重点要望項目》

8 復興事業としての社会資本整備等の促進(国土交通省・総務省)

(3) 国営メモリアル公園の整備

東日本大震災津波の記憶を未来に語り継ぎ、津波防災の文化を全国に発信する拠点としてのメモリアル公園のあり方等について、早期に調査・検討を進めたうえで、東日本大震災津波により壊滅的な被害を受け、被災地の復興の象徴として最も相応しい「陸前高田市高田松原地区」に国営メモリアル公園を整備すること

■宮城県

《重点要望項目》

7 (仮称)東日本大震災メモリアルパークの整備

東日本大震災を経験した我が国が、世界の震災・津波対策の向上に貢献するとともに、震災で生まれた各種の‘絆’を育み、被災地の復興を支えていくことを目的とする複合拠点施設(「(仮称)復興‘絆’スクエア」:「(仮称)震災・津波博物館」、「(仮称)復興祈念ホール」及び「(仮称)復興祈念広場」からなる。)を、国において、最大の被災県である宮城県に整備されることを要望します。

また、津波浸水地域のうち復旧困難な一定エリアを、北から南まで概ね連担する形で国が買い上げ、防災・減災、憩い・レクリエーション、追悼等を目的として、公園・緑地、防災林、築山・盛土等を広域的かつ総合的に整備することを求めます。

さらに、各市町が津波災害の遺構を保存整備する取組について、財政上の支援措置を講じることを求めます。

岩手県における復興祈念公園の取組状況について

1 県復興計画の位置づけ

本県では、復興計画（平成 23 年 8 月策定）において、復興祈念公園が津波防災文化の醸成と継承に加え、多重防災の一翼を担う重要な施設であり、復興まちづくりと一体となって整備すべきものと位置づけている。

2 取組経緯と今後の予定

(1) 市町村の意向把握（7 月～）

被災 12 市町村中 8 市町村で復興祈念公園の構想あり（H23. 11 現在）
— 陸前高田市では高田松原地区を国営祈念公園として構想—

(2) 国営公園の候補地選定（10 月）

今回の甚大な被害を象徴する土地であり、一定の敷地規模が確保できるとともに、津波防災の歴史文化遺産である高田松原を擁する陸前高田市の高田松原地区を県内候補地として選定。

(3) 国営公園の要望・提案（12 月～ 別紙参照）

全国を代表する津波常襲地帯である本県沿岸部にあつて、津波防災の歴史文化遺産であり奇跡の一本松がある高田松原地区での国営祈念公園の整備を要望。（12 月 5 日、1 月 10 日）

(4) 復興祈念公園の基本方針検討（1 月～）

国の復興祈念公園あり方調査と並行して、本県における復興祈念公園整備の基本的考え方を検討(12/26 業務委託)、7 月を目途に基本方針としてまとめる予定。

3 国営公園誘致の本県の考え方

(1) 国営による復興祈念公園の必要性について

被害が県境を越えて広域にわたり、我が国が近代国家として初めて経験した東日本大震災津波の記憶を未来に語り継ぎ、津波防災の文化を国内外に発信することは国の使命であり、国家的な記念事業として整備すべきものと考える。

(2) 復興まちづくりとの一体性について

被災地の都市公園には、津波エネルギーの減衰や避難場所等の多重防災機能が求められており、復興を力強く進めるために国営公園も復興まちづくりと一体的に計画し整備する必要がある。

(3) 役割分担の考え方について（県の役割）

高田松原地区の公園整備にあたって、県では防潮堤の整備や松原の再生を担うとともに、必要に応じて県営公園の併設も検討する。

国営メモリアル公園の整備

現状と復興に向けた課題等

<現状>

○津波常襲地帯としての岩手三陸

岩手県の三陸地域は、昔から幾度も津波に襲われ、明治三陸地震津波以降の約100年間の全国における大津波犠牲者（約47千人）の6割（約27千人）が岩手県に集中

○歴史文化遺産としての高田松原

高田松原は、約350年前に形成された人工林で、幾多の津波被害を受けながらも世代を超えた保全の取組により不毛の地を自然環境に恵まれた豊かな地に変えてきた長い歴史をもつ

○復興シンボルとしての奇跡の一本松

高田松原に自生していた約7万本の松の中から奇跡的に残った一本松は、「希望の松」や「ど根性松」として悲嘆に暮れる東北の被災地域全体に希望と勇気を与える復興のシンボルとしての存在

<復興に向けた課題等>

○津波防災文化の国内外への発信

津波犠牲者の鎮魂と追悼、今次の津波被害の記録と教訓を後世に伝承し、津波防災の文化を国内外に情報発信していく場が必要

○歴史文化遺産の高田松原の再生

歴史を刻む松原と一体の潟湖を含めたゾーンを平成の高田松原として再生し、全国の歴史文化遺産と言えるその価値を継承していくことが必要

○勇気と希望を与える復興のシンボルを実現

長い年月を要する復興の過程を可視化し被災者にも勇気と希望を与える復興のシンボルとして、「奇跡の一本松の命の継承」と「高田松原の再生」が必要

【参考】高田松原再生に向けての市民レベルの取組み

- ・高田松原を守る会…奇跡の一本松の保護と高田松原再生の取組（4月～）
- ・陸前高田ロータリークラブ…メモリアル・マガジン「高田松原ものがたり」作成（6月）
- ・「桜ライオン311」実行委員会設立…津波の到達点を桜の木でつなぎ後世に（11月）
- ・著名人の活動等…やなせたかし（CDと絵本製作等）、新井 満（散文詩集「希望の木」発行）、瀬戸内寂聴（青空説法）等

要 望 内 容

国営メモリアル公園の整備

東日本大震災津波の記憶を未来に語り継ぎ、津波防災の文化を国内外に発信する拠点として、全国を代表する津波常襲地帯である岩手三陸の地において、津波防災の歴史文化遺産といえる高田松原と復興のシンボルである奇跡の一本松を擁する**岩手県陸前高田市の高田松原地区に国営メモリアル公園を整備すること**



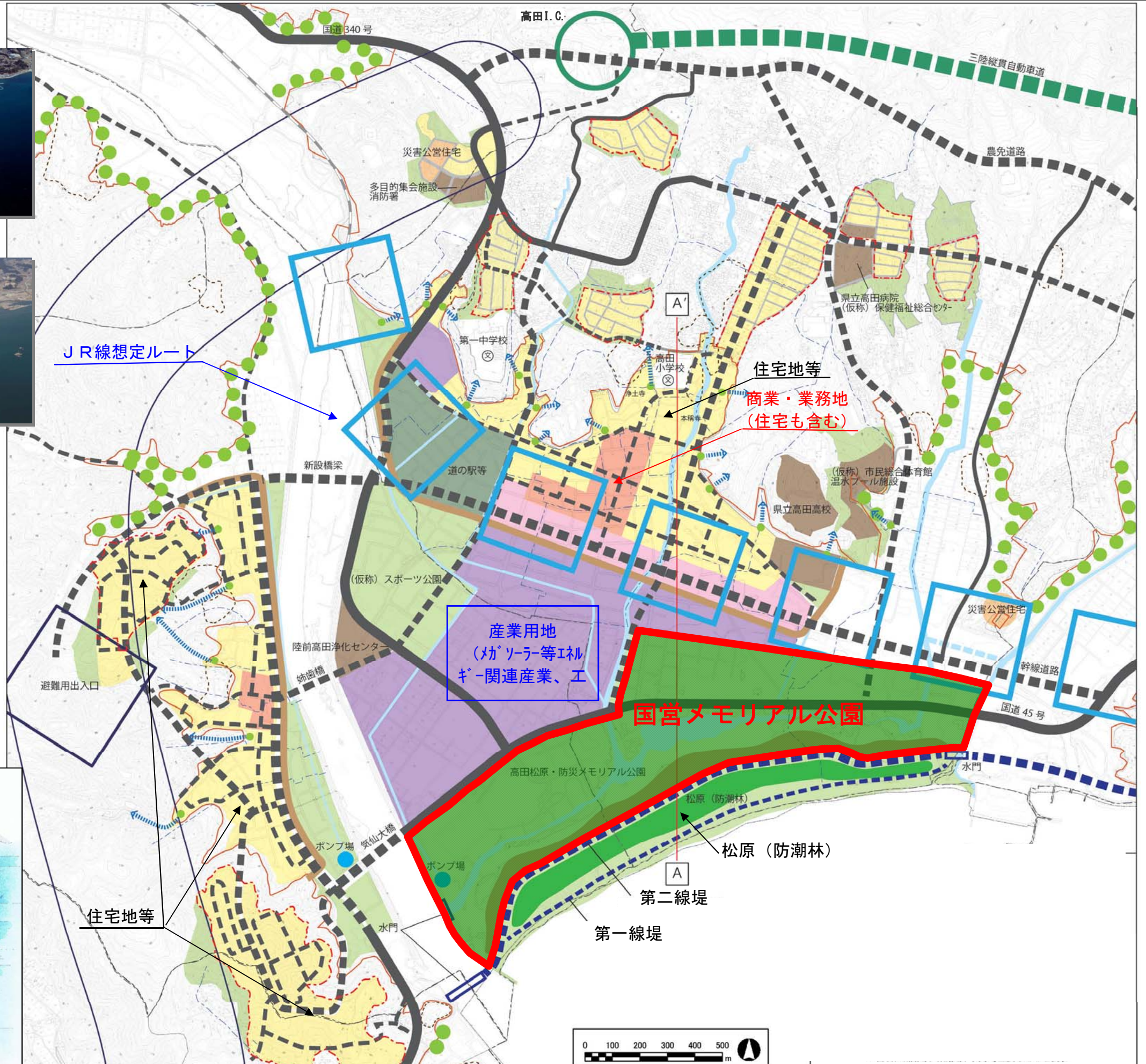
被害状況



奇跡の一本松




国営メモリアル公園 イメージパース

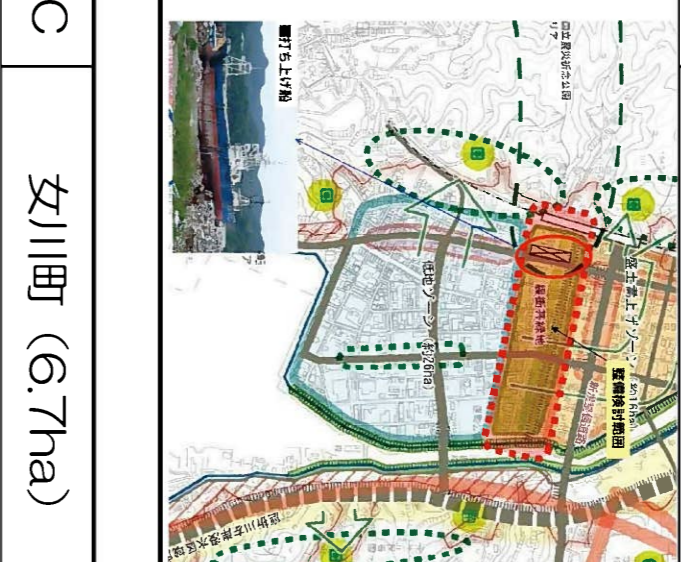



宮城県復興都市公園整備計画


※本資料に掲載している公園整備計画は、各市町の復興計画より抜粋したものであるため、今後変更する可能性があります。


F 岩沼市 (100.0ha程度)	
----------------------	---


B 南三陸町 (19.8ha)	
--------------------	--

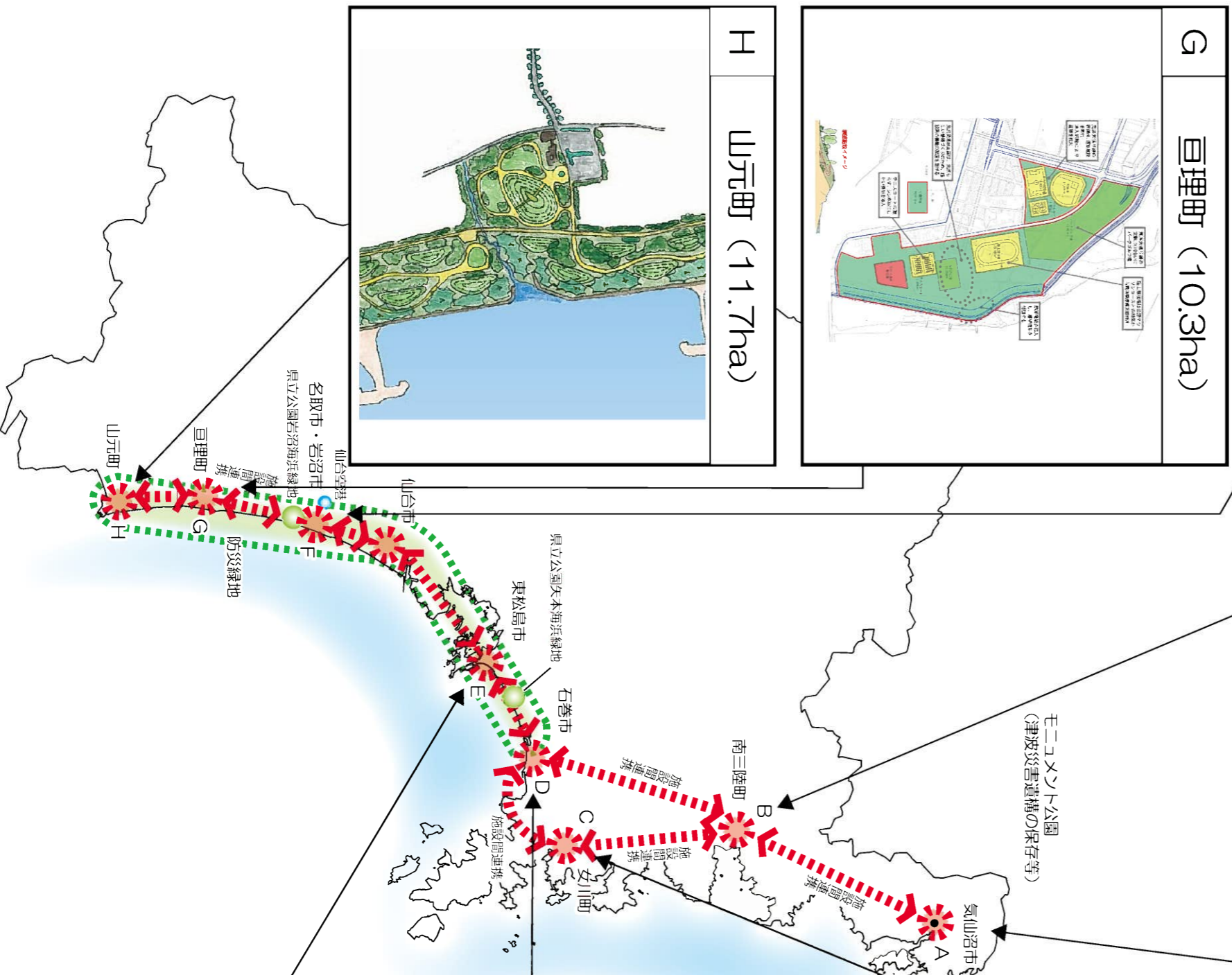
A 気仙沼市 (5.5ha)	
C 女川町 (6.7ha)	

G 亘理町 (10.3ha)	
-------------------	---

D 石巻市 (47.0ha)	
-------------------	--

H 山元町 (11.7ha)	
-------------------	--

E 東松島市 (23.0ha) ① (21.2ha) ②	
------------------------------------	---



東日本大震災の被災地の特性①

○東北地方の太平洋側を大きく地形で分けると、以下の3地域に分類できる。

- ①「岩手県から宮城県北部までの三陸リアス式海岸地域」
- ②「石巻湾、仙台湾を含み相馬市松川浦までの仙台湾平地地域」
- ③「相馬市松川浦以南の海岸線と海岸段丘に挟まれた福島浜通り地域」

	三陸リアス式海岸地域	仙台湾平地地域	福島浜通り地域
自然特性	<ul style="list-style-type: none"> ・多くは崖海岸であるが、小規模なポケットビーチが点在 ・植生は、断崖上に樹林が分布 	<ul style="list-style-type: none"> ・長大な砂浜海岸や干潟・潟湖が形成している ・植生は、沿岸に松林等の植林地が分布 	<ul style="list-style-type: none"> ・北部の相馬地方と南部のいわき地方は比較的長い砂浜が広がる ・中部の双葉地方では海岸線まで丘陵がせまり、崖となっている ・植生は、沿岸に松林等の植林地が分布
社会特性	<ul style="list-style-type: none"> ・交通幹線から外れている ・漁港が多く、漁港都市群が発達 ・海、山などを一体として考え、牡蠣等の漁場を豊かにするための植樹活動が行われる 	<ul style="list-style-type: none"> ・北東日本の流通経済の中心都市である仙台市が立地 ・松島湾は日本を代表する名勝の地として知られる ・仙台湾には物流基地である塩釜港が立地 	<ul style="list-style-type: none"> ・相馬や小名浜等の漁業の基地がある ・いわき地方は、温泉観光や首都圏外縁の臨海工業地帯として発展 ・双葉地方の海岸は地形上、産業が発達せず、原発が誘致された
歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模な漁村が形成され、海産資源に頼った生活が営まれた ・過去には気仙地方の金山が奥州藤原氏の黄金文化を支えた ・近代では鉄鋼業を中心とする企業が進出し、釜石のような企業都市が形成 ・現在では多くの鉱山が閉山 	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台平野は江戸時代の主要な米所 ・海岸沿いでは半農半漁が生業 ・貞山堀が整備され、蒸気船が運航したが、陸上交通機関の発達により運河としての役割は衰退 	<ul style="list-style-type: none"> ・古くは水産業によって生活が営まれていた ・明治期に採炭業が発展 ・近代工業化に合わせ、大規模プラントや工場が誘致され、海辺の生業は変容 ・原子力発電所等が立地し、東京電力の総発電量の約3割を発電

東日本大震災の被災地の特性②

■ 森と海を一体にとりて地域の資源を利用している事例(NPO 森は海の恋人)

【活動の経緯・内容】

- ・気仙沼湾は養殖漁場として優れ、ノリやカキなどの養殖が行われてきた。
- ・昭和40年～50年代にかけて、一般家庭からの雑排水、農業現場で農薬、手入れのされていない針葉樹林からの赤土流出等により気仙沼湾の環境が悪化した。
- ・そこで、川の流域に暮らす人々と、価値観を共有しなければ、きれいな海は帰ってこないことを悟り、川の上流部に落葉広葉樹の森を創る「牡蠣の森を慕う会」を設立した。
- ・平成元年から植樹祭が続けられ、これまで約3万本の落葉広葉樹を植樹している。
- ・また、環境教育の重要性を感じ、平成2年から体験学習を開始し、これまでに10,000人を超える子供を招いている。



写真 「NPO森は海の恋人」の活動状況

■ 運河交通としての貞山堀と現在の利用

【概要】

- ・阿武隈川河口の岩沼市から松島湾の塩竈市までを結ぶ運河で、近世初頭(1600)より3時期に分けて工事が行われ、明治22年(1889)に完成した。
- ・貞山堀は、仙台湾沿いの5市1町にまたがり、延長は33kmに及ぶ。
- ・仙台城下への建築資材の運搬、御城米の運搬等に利用され、明治期には蒸気船が運航していた。
- ・その後、陸上交通機関の発達により、運河としての役割は衰退し、現在、ボートの練習やシジミ採り、釣り場などの憩いの場所として、市民に親しまれている。



写真 岩沼市の「貞山堀」



写真 「貞山堀」でのシジミ採りの様子

東日本大震災の被災地の特性③

■東北地方の主な津波被害

発生年月日	概要
貞観11年(869年)5月26日	大地震によって死者多数を出し、家屋の倒壊も甚だしかった。同時に津波が来襲、死者1,000余名に及んだ。
慶長16年(1611年)10月28日	地震の後大津波。伊達領内で死者1,783名。
慶長16年(1611年)11月13日	大地震の後、津波が3度来襲。伊達領内溺死者5,000名を超える。
明治29年(1896年)6月15日	青森県下では死者343名、岩手県下で死者22,565名、負傷者6,779名、流失家屋6,156戸、宮城県下で死者3,452名、流失家屋3,121名。
昭和8年(1933年)3月3日	三陸沿岸で津波による甚大な被害。死者・不明者3,064名、家屋流失4,034名、倒壊1,817戸、浸水4,018戸。波高は綾里湾で28.7mに達した。
平成23年(2011年)3月11日	宮城県沖地震発生後、大津波来襲。岩手・宮城・福島を中心に、太平洋沿岸域に甚大な被害。東日本大震災。

■津波被害を受ける地域への市街化の事例(高田松原)

昭和8年頃



津波前の航空写真



津波前の航空写真



復興交付金による震災復興祈念公園の整備①

■復興交付金の概要①

東日本大震災復興交付金について

目的：復興交付金の創設により、被災地方公共団体が自らの復興プランの下に進める地域づくりを支援し、復興を加速させる。

対象：著しい被害を受けた地域の復興地域づくりに必要となる事業

(注) 東日本大震災財特法の特定被災区域である市町村等及び当該市町村において道県が行う上記の事業

規模：国費1兆5,612億円（事業費1兆9,307億円） ※事業費は国費+地方負担

基幹事業

■被災地方公共団体の復興地域づくりに必要なハード事業を幅広く一括化

(事業費1兆4,302億円)

道路整備事業（補助金）

学校整備事業（補助金）

土地区画整理事業（補助金）

病院耐震化事業（補助金）

防災集団移転促進事業（補助金）

浄化槽整備事業（補助金）

農業農村整備事業（補助金）

⋮

漁業集落整備事業（補助金）

基幹事業・・・5省40事業

被災地方公共団体

復興計画の下に進める
地域づくりを支援

効果促進事業

■用途の自由度の高い資金により、ハード・ソフト事業ニーズに対応

(事業費5,006億円、補助率80%、基幹事業費の35%を上限)

基幹事業

都市公園整備事業
防災集団移転促進事業
都市防災推進事業
市街地再開発事業

効果促進事業

(例)
災害発生時の避難路を整備
低地の市街地とを結ぶバス路線整備
ハザードマップを作成
まちづくりワークショップを開催

基幹事業と関連し、復興のためのハード・ソフト事業を実施可能とする用途の緩やかな資金を確保。

復興交付金による震災復興祈念公園の整備②

■復興交付金の概要②

地方負担の軽減

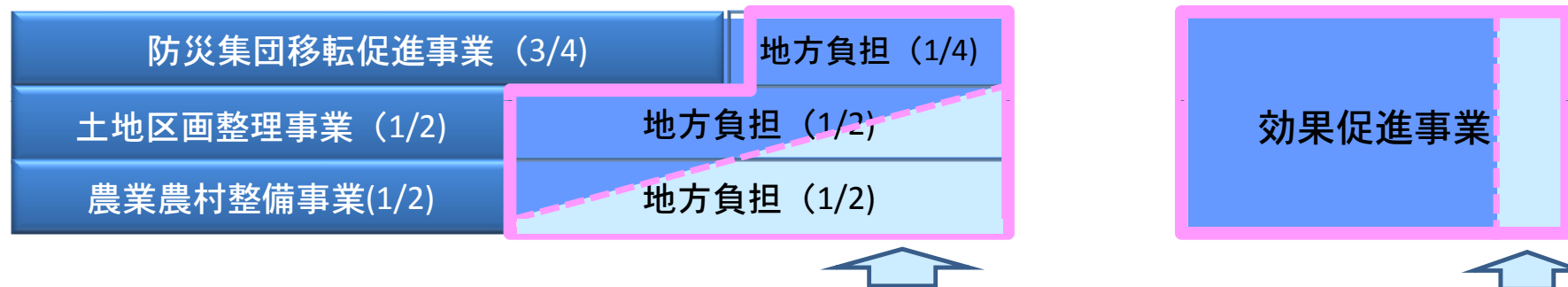
■地方負担については、①追加的な国庫補助、及び②地方交付税の加算、により全て手当

①追加的な国庫補助：地方負担分の50%及び効果促進事業の80%を国庫補助

(例)

地方負担分の50%を補助

効果促進事業の80%を補助



②地方交付税の加算：なお生じる地方負担は地方交付税の加算により確実に手当て（その財源は3次補正で全額措置）

■執行の弾力化・手続きの簡素化

○ワンストップ化 市町村の復興計画全体（関連する県事業を含む）をパッケージで国に提出。

○執行上の弾力化等 事業間流用や年度間調整（検討中）、交付・繰越・変更等に係る諸手続きの簡素化

内閣府で予算を一括計上し、市町村が提出する計画に基づいて配分。各府省と協力して事業実施。

復興交付金による震災復興祈念公園の整備③

■復興交付金(都市公園事業)の概要

事業目的: 津波被害を軽減する機能を有する都市公園等の整備を行うことにより、津波災害に強い地域づくりを図ることを目的とする。

対象事業: イ. 防災公園(※1)

ロ. 津波防災緑地(※2)

ハ. 住宅宅地関連公共施設整備及び面的整備事業における

公共施設管理者負担金に係る都市公園

事業要件: イ. 面積要件

原則として2ha以上(複数の地区を同一の公園として整備する場合はそれらの合計面積が2ha以上)とする。ただし、街区公園、近隣公園、都市緑地は除く。

ロ. 総事業費要件

特定市町村事業は2.5億円以上、特定都道府県事業は5億円以上。

※1 対象となる「防災公園」

規模要件、対象都市要件及び対象地域要件(社会資本整備総合交付金における要件と同様)を満たす都市公園で、災害対策基本法に基づく地域防災計画等に当該都市公園の津波被害を軽減する機能が位置づけられているものをいう。

※2 対象となる「津波防災緑地」

「東日本大震災復興特別区域法」に基づく「復興整備計画」及び災害対策基本法に基づく地域防災計画等に、10戸以上の市街地や主要な公共施設を直接的に防御するものとして、i)又はii)の津波被害を軽減する機能が位置づけられているものをいう。

i) 津波を減衰し、浸水被害範囲の軽減、避難時間の確保等に資する機能

ii) 漂流物を捕捉し、衝突による被害の軽減、人命の救助等に資する機能

写真等の出典一覧①

図・写真	引用・出典・提供
多様な主体による「追悼・鎮魂」、「震災の記録・教訓の伝承」①	
詩碑 水堂小学校(尼崎市)	NPO法人阪神淡路大震災1.17希望の灯りHP http://117kibounoakari.jp/monument/top.html
ブロンズ像 三宮センター街(中央区)	
石塔 如来寺(芦屋市)	
震災モニュメントマップ	
多様な主体による「追悼・鎮魂」、「震災の記録・教訓の伝承」②	
センターの外観	阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター http://www.dri.ne.jp/
資料室	
1.17シアター	
震災直後のまちの再現	
大震災ホール	
震災の記憶を残す コーナー	
震災を語り継ぐ コーナー	
災害情報ステーション	
防災・減災ワークショップ	
ガイドンスルーム[震災学習プログラム]	
都市公園における「追悼・鎮魂」、「震災の記録・教訓の伝承」①	
大倉山公園	NPO法人阪神淡路大震災1.17希望の灯りHP http://117kibounoakari.jp/monument/top.html
中之町公園	
西灘公園	
都賀川公園	
都市公園における「追悼・鎮魂」、「震災の記録・教訓の伝承」②	
新湊川公園	NPO法人阪神淡路大震災1.17希望の灯りHP http://117kibounoakari.jp/monument/top.html
新長田公園	
明石公園	
下中島公園	

写真等の出典一覧②

図・写真	引用・出典・提供
都市公園における「追悼・鎮魂」、「震災の記録・教訓の伝承」③ 県営平和祈念公園	
平面図	沖縄県営平和祈念公園HP (財)沖縄県平和祈念財団 http://kouen.heiwa-irei-okinawa.jp/
平和の火	
沖縄県平和祈念資料館	
沖縄平和祈念堂	
平和の礎	
式典広場	
都市公園における「追悼・鎮魂」、「震災の記録・教訓の伝承」④ 平和記念公園	
平面図	広島市より提供
原爆ドーム	
平和の灯	
原爆死没者慰霊碑	
広島平和記念資料館	
都市公園における「追悼・鎮魂」、「震災の記録・教訓の伝承」⑤ 長崎平和公園	
平面図	平和祈念公園HP http://www1.city.nagasaki.nagasaki.jp/kouen/heiwa/heiwatop.html
平和の泉	
浦上天主堂遺壁	
長崎原爆資料館	
平和祈念像	
式典広場	
都市公園における「追悼・鎮魂」、「震災の記録・教訓の伝承」⑥ 北淡震災記念公園	
平面図	北淡震災記念公園HP http://www.nojima-danso.co.jp/
野島断層保存館	
保存館内の展示	
震災体験館(外観)	
震災体験館(館内)	
メモリアルハウス(外観)	
メモリアルハウス(館内)	

写真等の出典一覧③

図・写真	引用・出典・提供
地域の復興ビジョンや新たなコミュニティのあり方示す場としての都市公園等①	
隅田公園	墨田区HP http://www.city.sumida.lg.jp/matizukuri/park/kunai_park_annai/sumida_park/park33.html
山下公園	横浜市HP http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/park/yokohama/kouen008.html
地域の復興ビジョンや新たなコミュニティのあり方示す場としての都市公園等②	
定禅寺通緑地	国土交通省HP http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/kankosyakaisihon/82/0401.pdf
久屋大通公園	名古屋市HP http://www.city.nagoya.jp/ryokuseidoboku/page/0000005015.html
地域の復興ビジョンや新たなコミュニティのあり方示す場としての都市公園等③	
こもれびの里パース図	国交省資料
大のぼりの建立(伝統文化の再現)	
宝船の制作(伝統文化の再現)	
東日本大震災による被災状況①	
死者・行方不明者数	東日本大震災復興構想会議『復興への提言 悲惨のなかの希望』
過去の復興祈念施設の立地状況	
原爆落下中心碑(長崎平和公園)	長崎平和公園HP http://www1.city.nagasaki.nagasaki.jp/kouen/heiwa/heiwatop.html
爆心地・島病院前の原爆被災説明板(広島平和記念公園)	広島市より提供
東日本大震災の被災地の特性②	
「NPO森は海の恋人」の活動状況	NPO法人 森は海の恋人HP http://www.mori-umi.org/
岩沼市の「貞山堀」	岩沼市HP http://www.city.iwanuma.miyagi.jp/kakuka/030200/030201/teizanunagatomatunami.html
「貞山堀」でのシジミ捕りの様子	仙台市若林区HP http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/wakachu/mizube/m011.html
東日本大震災の被災地の特性③	
左	国土地理院
中	国土地理院HP http://saigai.gsi.go.jp/h23taiheiyo-ok/hikaku/rikuzentakata.pdf
右	国土地理院HP http://saigai.gsi.go.jp/h23taiheiyo-ok/hikaku/rikuzentakata.pdf